

目標3 新たな観光価値を創造する

2025年の姿

文化としての「絵本のまち」、歴史的な情緒にあふれ憩いを感じる史跡公園、貴重な「農」に触れ・親しむことのできる環境など、ストーリー性のある新たな観光コンテンツが創造されています。

また、数多の魅力が結びつくことで、歴史と文化の薫る赤塚地域を存分に楽しむことのできる環境が整っています。

取組の方向性

地域特性や地域資源、周辺環境などの要素を結び付けた魅力の創造、イタリア・ボローニャ市との絵本に関する交流を基にした「絵本のまち」の文化などをいかした、洗練された観光メニュー・取組を展開し、板橋ならではの観光価値を創出していきます。

また、多数の観光資源を有する赤塚地域においては、施設整備を基点としたにぎわいの創出を契機に、周辺資源を合わせて楽しめる環境づくりに取り組みます。



磨く × 農業

磨く × 歴史・文化

創る × 学びと憩いの場

伝える × 絵本のまち

「農」をいかした観光



板橋の原風景である貴重な農を保全するため、(仮称)農業園や農業体験学校の整備などにより、農を身近に親しむことのできる環境の充実や農業者の育成に取り組めます。

また、志村みの早生大根の普及などによる新たなブランドイメージの形成に取り組むとともに、農業まつりの実施による区内農業のPR及び活性化を図ります。

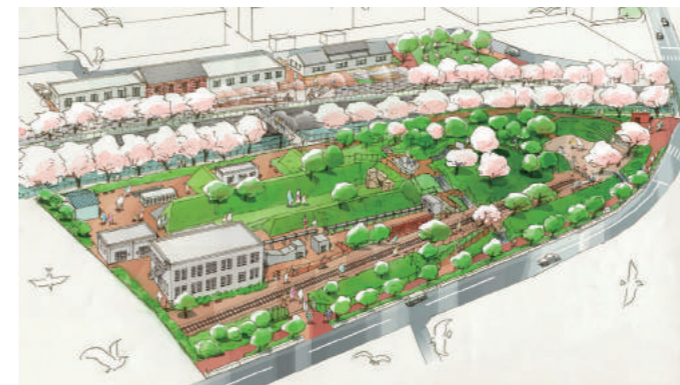
赤塚地域の資源をいかしたにぎわいづくり



自然や史跡をはじめ、多数の神社・仏閣、美術館・郷土資料館などの資源を有する赤塚地域は、区の歴史や文化を感じることのできる代表的な観光スポットとなっています。

そのため、美術館の大規模改修を基点とするにぎわいの創出を契機とした、周辺の観光資源を楽しむことのできる事業展開・環境整備に取り組めます。

近代化遺産としての史跡公園整備



近代化・産業遺産を保存・活用した都内初となる史跡公園を整備し、板橋の産業発展や地域の歴史、平和に対する学びの場を提供します。

また、公園周辺エリアを広域的に捉え、中山道板橋宿や加賀藩下屋敷がおかれていた歴史的な価値をいかした情緒あふれる環境及び多様な人々が気軽に集い・憩うことのできる環境整備をめざします。

「絵本のまち板橋」による魅力づくり



新たな中央図書館に、いたばしボローニャ子ども絵本館を併設し、「絵本のまち板橋」の発信拠点として、世界の絵本と身近にふれあえる場とします。

また、児童図書と連携したサービスを展開することにより、子どもたちに絵本を通じた読書活動の推進を図るとともに、優れた海外絵本を所蔵する絵本館の魅力を図る取組を推進します。